

## 新2号建築物(木造住宅等)の 完了検査の留意点

令和7年4月以降に着工する建築物については、省エネ基準への適合が義務化され2階建て木造住宅等が特例「無し」となることに伴い、構造規定や省エネ基準の検査を行うこととなります

このため、完了検査申請書と併せて「**省エネ基準監理報告書**」をご提出頂くとともに、下記の必要書類や手続きについて、改めて確認をお願い致します ※省エネ基準監理報告書は5種類ありますので該当するものをご提出下さい(裏面参照)

### 記

#### 1)省エネ基準の検査

下記①②③が確認申請図書と同じものか確認し書類等をご準備ください

- ①断熱材（屋根・天井・外壁・床・基礎・その他）の厚さ・断熱性能
- ②外部開口部(サッシ等)の寸法・断熱性能・遮熱(日射遮蔽)性能
- ③設備機器等の性能（空調設備・換気設備・照明設備・給湯設備・配管方式・水栓・高断熱用浴槽・太陽光発電等）

→現場で確認できないものは、写真や納入仕様書、性能証明書等をご準備ください

#### 2)構造規定の検査

基礎配筋や軸組、金物等に係る工事写真や書類等をご準備ください  
(中間検査申請時にセンターに提示済のものを除きます)

→現場で確認できないものは、工事写真等(裏面参照)をご準備ください

#### ◆計画変更や軽微な変更がないか、事前にご確認ください

変更が生じた場合は、早めにご相談ください

検査済証の発行やお引渡し時期等に影響する場合がありますので、ご注意ください

## ※省エネ基準監理報告書の種類

省エネ基準監理報告書は5種類ありますので該当するものをご提出下さい

当センターHP「様式ダウンロード」→確認検査関係様式→完了検査申請関係」に記載しています

【住宅】①省エネ基準監理報告書(仕様基準)

②省エネ基準監理報告書(標準計算)

【非住宅】③省エネ基準監理報告書(標準入力法)

④省エネ基準監理報告書(モデル建物法)

⑤省エネ基準監理報告書(モデル建物法 (小規模版))

## ※工事写真リスト(参考例)

出典 2階建て木造戸建て住宅等確認申請・審査マニュアル P158

[発行 (一財)日本建築防災協会・(一財)建築行政情報センター]

対象		写真の部分
材料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造耐力上主要な部分の材料ラベル、梱包等</li> <li>・鉄筋、コンクリート、柱、梁、筋交い、耐力面材、土台等木材、接合金物・接合具</li> <li>◆鉄筋のタグ、刻印等</li> </ul>
基礎	地業後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支持地盤の状況</li> <li>◆地盤改良の施工状況</li> </ul>
	コンクリート打設前 ◆打設時に受け取る生コン伝票の保管をお勧めします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配筋の状況(底盤、立上り、開口補強、配管用スリーブ等)</li> <li>・アンカーボルト(ホールダウン用、土台用)の設置状況(埋め込み長さ、フック)</li> <li>・型枠の施工状況(各部の寸法、立上り型枠補強)</li> </ul>
	コンクリート打設後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱型時期の記録</li> <li>・ジャンカ、コールドジョイント等の有無</li> </ul>
木造の部分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防腐防蟻処理の範囲</li> <li>・柱、筋交い、耐力面材、火打材、桁行筋交い等構造部材の配置</li> <li>・接合金物の配置:柱頭・柱脚、筋交い端部、火打、土台</li> <li>・接合部に応じた接合具の種類、本数</li> <li>・耐力面材に用いられる接合具の種類、間隔</li> </ul>
屋根		<ul style="list-style-type: none"> <li>・瓦等、屋根ふき材の留付状況</li> </ul>
大臣認定品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐力壁、準耐力壁等</li> </ul>

◆はふくしま建築住宅センターで追記した部分です